学校番号	305

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「科学と人間生活」　（啓林館）						
副教材等	科学と人間生活　補充テキスト　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この「科学と人間生活」の授業を通して、「高校での勉強法」を身に付けましょう。「定期テスト前に固めて勉強する」というのは、高校では最初は大丈夫と感じても、段々と通用しなくなります。
1. 授業に集中する(板書を写すことに集中してしまわず、説明を聞いて「理解」することを意識)
2. わからないところはその日のうちに積極的に質問するなどし、解決する
3. 授業のあったその日に復習(ノートを見直すだけでも良い＝教科数が多いので、書いている時間がもったいない)
4. テスト前に何も見ずに解けるようになるまで演習する(授業中に解いた問題、課題プリントでよい＝新しいものをたくさんこなすより、まず与えられたものを完璧に)

この 4 ステップをこなす習慣をつけると、「自信」になります。「受験が終わって勉強なんてまだ良い！」と思っているあなた！入学＝新たなスタートです！あなたの未来のために、止まっていないで、一緒に第一歩を踏み出しましょう！

2　学習の到達目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ，科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味・関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について問題を見いだし、観察、実験などを通して、事情を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、観察、実験などを通し理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td>序章</td><td>科学技術の発展</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>a:現代社会において、科学技術の発展が生活を豊かで便利にしてきた様子と、その役割に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。</td><td rowspan="2">学習状況
探究活動
ノート・ワークシート
観察・実験
定期考査</td></tr>
<tr><td>生命の科学</td><td>生物と光</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>b:微生物の発酵によって食料品などが生産されるしくみについて調べ、考察し、導き出した考えを表現している。

d:「微生物の生態系や人間生活との関わり」について理解し知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td>物質の科学</td><td>材料とその再利用</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>c:金属の種類と性質を調べる観察と実験を行い、そこから得られた結果を的確に記録・整理している。
d:身近な材料であるプラスチックや金属の種類、性質及び用途と自然の再利用について理解し知識を身に付けている。</td><td>学習状況
探究活動
ノート・ワークシート
観察・実験
定期考査</td></tr>
</table>

後期	光や熱の科学	光の性質とその利用	○	○			a:光や熱の性質、について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:光と波を関連付けて調べ、光の性質を理解してレンズや反射のしくみ、眼の構造を考察し、導き出した考えを表現している。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
	宇宙や地球の科学	自然景観と自然災害			○	○	c:地震やその影響が発生するしくみを観察によって調べ、表現できる。 d:身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、太陽の放射エネルギーによる作用や地球内部のエネルギーによる変動と関連付けて理解する。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
	終章	これからの科学と人間生活		○			b:自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について考察し、導き出した考えを表現している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。